



学校だより



輝く修成っ子

No.12

令和7年9月25日
津市立修成小学校

登下校時のヘルメット着用について

9月は熱中症対策のため、保護者の皆様のご判断でヘルメットを着用しない登下校を認めておりましたが、暑さも和らいできたため、10月1日(水)より、これまで通りヘルメットを着用しての登下校に戻します。かつて橋南中学校区で起きた痛ましい交通事故を教訓に、子どもたちの安全を守るためにヘルメット着用をお願いしています。ヘルメットは、大切な命を万が一の事故から守るためのものです。お子様の安全のため、ご家庭でもヘルメット着用の大切さについてお話しいただき、日々の登下校でヘルメットを正しく着用させていただきますようお願いいたします。

1年生で誘拐防止教室を行いました

9月16日(火)に津警察署生活安全課の方を講師にお招きし、1年生で誘拐防止教室を実施しました。子どもたちは、警察の方の問いかけに元気よく答えながら、防犯について考えました。授業では、「いかのおすし」という合言葉を学びました。「知らない人についていかない」「知らない人の車にのらない」「おおごえをだす」「すぐにげる」「何かあったらすぐに大人にしらせる」という、もしもの時に自分の身を守る大切な方法です。ご家庭でも、防犯について話してください。



伝え方で深まる、信頼と不安②

前回の学校だよりでは、「第三者を通してネガティブな言葉を聞いた場合」の恐ろしさについてお伝えしました。今回はその逆で、第三者を経由して伝えられるポジティブな言葉が、どれほどの力を持つかについて考えてみたいと思います。

「〇〇さんが、あなたのことを褒めていたよ」「〇〇先生が、がんばっていて素晴らしいって話していたよ」。こうした言葉は、直接言われるよりも心に深く響くものです。なぜなら、相手がわざわざ別の誰かに話すほど、あなたのことを評価しているという証拠になるからです。

「3倍の効果」は、ネガティブな噂だけでなく、温かい言葉や称賛にも働きます。第三者を経由することで、その言葉は信頼性を増し、受け取った人の自己肯定感を高めます。お互いを認め合うポジティブな情報が広がることで、私たちは安心感を抱き、より良い人間関係を築いていけるのです。

私たちは情報の受け手であると同時に、発信者でもあります。誰かの良い行いや、素敵な一面を見つけたら、ぜひ他の人に教えてあげてください。その一言が、巡り巡って、誰かを笑顔にし、勇気づけることにつながります。

みんなで温かい言葉のバトンを繋いでいくことで、安心して過ごせる学校や社会を、私たちが主体的につくっていくことができます。子どもたちが安心して学校生活を送るためにも、そして私たち大人同士が信頼で結ばれるためにも、日々のコミュニケーションの中で、温かい言葉を意識的に広げていきたいと思います。

